

令和2年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 えんがる商工会 経営発達支援事業評価委員会
 2. 開催日時 令和3年3月29日（月）15時00分
 3. 開催場所 丸瀬布コミュニティセンター ホール
 4. 出席者 管野会長、秋田副会長、今野副会長、小椋課長、
渡辺支店長、佐々木支所長、秋元青年部長
樋口、宇野
- (1) 外部有識者 遠軽町商工観光課 課長 小椋 将秀
遠軽信用金庫丸瀬布支店 支店長 渡辺 勝彦
商工会連合会オホーツク支所 支所長 佐々木 健雄
- (2) 商工会 会 長：管野 伸一
副 会 長：秋田 博
〃 : 今野 政男
青 年 部 長：秋元 直樹
事 務 局 長：樋口 和幸
経 営 指 導 員：宇野 智紀

5. 内 容

定刻となり、事務局が開会を宣し、商工会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画のイメージと事業評価について

事務局は、経営発達支援計画のイメージ概要を説明し、事業評価シートを参照しながら内容説明を行った。

(2) 令和2年度事業報告について

事務局は経営発達支援事業の評価・見直しを行うために、本委員会により事業全体のPDCAを機能させていくことを説明した。

令和2年度における、経営発達支援事業評価は以下のとおり。

I. 経営発達支援事業の内容

① 地域経済動向の調査に関すること

取組内容1：地域の経済動向を把握するためにアンケート調査を様々な業種の15社の小規模事業者の業況等を調査した。

内 容	目標件数	実績件数
個社の経済動向調査	12件	15件
上記の調査結果の提供	1回	4回

検証結果：本年度から国の委託を受けて景況調査を実施しているため、そのデータを活用している。

事業計画策定における外部環境の把握に活用できるため、次年度以降も調査を行い、より精度を向上させ、データを提供していきたいがHP開設による調査結果の提供ができていない為、早急に対応したい。

取組内容2：地域外の経済動向調査の提供を北海道商工会連合会、遠軽信用金庫が提供する地域外の景況調査へ情報提供を行う。

内 容	目標件数	実績件数
外部経済動向調査の提供	4回	4回

検証結果：全15社の調査を行うことができ、経済動向調査をHPで情報提供した。又、北海道商工会連合会が情報提供する中小企業景況調査報告書をHP上に公開した。

② 経営状況の分析に関すること

取組内容1：ヒアリングシートを活用した定性面分析の実施を行い、自社の問題の「見える化」を行う。

内 容	目標件数	実績件数
定性面分析の実施件数	8件	8件

検証結果：感覚的にしか捉えていなかった自社の問題を発見することに繋がった。又、問題を見える化したことにより事業者が何を改善すればよいか明確化できた。今年度は目標を達成できたが、件数に捉われずに支援していきたい。

取組内容 2：決算書から作成する財務分析シートによって、財務諸表を活用した定量面分析の実施を行う。

内 容	目標件数	実績件数
定量面分析の実施件数	8 件	8 件

検証結果：定性面分析と並列して分析を行った。経営相談の指標として活用することに繋がっているため、次年度以降も継続実施する。

取組内容 3：専門家との連携によるセミナーの実施を行い、自社の財務・環境分析を行う。

内 容	目標件数	実績件数
専門家による経営分析セミナー	1 回	2 回

検証結果：高齢の現経営者が事業承継をする際に、新たな経営者へ引き継ぐための自社の問題点や目に見えない資産、財務内容を見つめ直し、経営力向上とスムーズな事業承継を支援することができた。今後もこのような事例が多くなると予想されるので継続して取組んでいきたい。

③ 事業計画策定支援に関すること

取組内容 1：巡回訪問により事業計画書の必要性と有効性を説明し、事業計画策定対象者の掘り起こしを行った。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定企業掘り起こしのための巡回訪問回数	40 回	45 回

検証結果：成果として、新たに事業計画書の作成を行った事業所も数件あり、持続的な支援を進められる形となったため、今後も継続していきたい。

取組内容 2：伴走型補助金を活用し、専門家を招聘。事業計画策定支援セミナーの開催を行う。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定セミナーの開催	1 回	0 回

検証結果：平成 30 年度に集団セミナーを実施したが、企業規模や経営レベル、業種業態の違いにより効果が得られにくいと判断されたためセミナー実施を見送った。今後の事業計画を策定するためには個社支援に絞って個別対応をしていきたい。

取組内容 3：事業計画策定企業数として、本年度は持続化補助金で 7 件、金融支援で 1 件の経営計画策定を支援した。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定企業数	8 件	8 件

検証結果：3 件の事業者が初めて事業計画を策定したため、自社の環境や状況について把握できた結果となった。今後、この事業計画を基により綿密な指導ができると考えている。

④ 事業計画策定後の支援に関すること

取組内容 1：事業計画を策定した事業者を定期的に訪問し、策定した計画が遂行できているのかの伴走型支援を行った。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定後の巡回訪問回数	36 回	63 回

検証結果：計画策定の段階で国の補助金を活用できる事業者が多く、設備投資等の費用負担を軽減することができた。今後についてもアフターフォローを重視していきたい。

取組内容 2：事業計画策定後のフォローアップ企業数については目標を上回る形で8件の事業者のフォローアップを行った。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定後のフォローアップ企業数	8 件	8 件

検証結果：取組内容 1 と同様

⑤ 需要動向調査に関すること

取組内容 1：既存商品におけるマーケティング調査の実施を行うため、食品製造業者 3 件に札幌・東京のアンテナショップである「どさんこプラザ」でテスト販売の提案をした。

内 容	目標件数	実績件数
マーケティング調査の支援企業数	2 件	0 件

検証結果：食料品製造業者にテスト販売の提案をしたが、必要性が無いとの回答であったため断念した。しかしながら、新商品のテスト販売やブラッシュアップに活用できるため引き続き支援していきたい。

取組内容 2：当町で実施しているアスパラフェアを対象に、町内外のお客様に 10 項目のアンケート調査を行い商品開発・改良支援を実施。

内 容	目標件数	実績件数
飲食店を対象としたアンケート調査の支援企業数	3 件	4 件

検証結果：地域産品を活用した料理に対するアンケート調査を各団体と共同で実施し情報提供を行った。又、遠軽町では特産品開発の支援制度もあるため、調査報告だけではなく補助金活用の案内も情報提供し支援の充実を図りたい。

取組内容 3：日経テレコンを利用し、今売れている食料品などのヒット商品の情報提供を実施した。

内 容	目標件数	実績件数
地域外のトレンド商品の情報提供	1 2 件	1 2 件

検証結果：日経テレコンを活用し地域外のトレンド商品などの情報をHPにて情報提供した。継続して提供していきたい。

⑥ 新たな需要の開拓に資する支援に関すること

取組内容 1：食品製造業者に札幌で開催された商談会への出展支援を行った。

内 容	目標件数	実績件数
商談会出展支援企業数	2 件	3 件

検証結果：新たな販路開拓先やバイヤーとの接点を持つことができた。コロナ禍にあるため参加企業から「今後はネット販売を有効に活用していく企業が増加する」と出展した各地の事業者からの声を聴くことができた。自社商品の価値を再認識し、ブラッシュアップする機会を得られたため、次年度以降も継続して支援していきたい。

取組内容 2：商談会に出店した事業者がバイヤー等と接点を持ち、新たな販路開拓となるよう、現場支援を行った。

内 容	目標件数	実績件数
商談会参加企業の成立件数	4 件以上	0 件

検証結果：商談成立とはならなかったが、バイヤーと繋がることで仙台市や名古屋市での物産展へ参加できるようになった。次年度も事業者が積極的に自社商品を売り込めるよう支援を継続していきたい。

取組内容3：SHIFT・HP等の新規開設を支援した。

内 容	目標件数	実績件数
HPの新規開設件数	20件	2件

検証結果：新たに2社がHPを立ち上げた。内1社は売上が1%向上し、もう1社については自社のHPを見たことで取扱い商品に関する問合せが数件あったとのことだった。引き続きHP開設を希望する企業を募集し、支援していきたい。

取組内容4：HPの開設とニッポンセレクトによるネット販売の掲載支援を実施した。

内 容	目標件数	実績件数
HPでのネット販売による売上目標	1%以上の売上増加	なし

検証結果：買い物カゴ付きのHPの開設を行えなかったため、積極的なPRと製造販売をしている事業者にはニッポンセレクトのPRをさらに推進していきたい。

II. 地域経済の活性化に資する取り組み

取組内容1：各地区へのイベント協力を行い、新商品のPR機会としてイベント活用推進を実施した。

内 容	目標件数	実績件数
年間イベントでの集客数	15,000名	0名

検証結果：新型コロナウイルス感染症の影響により地域イベントが中止となった。

取組内容2：町内外の新規顧客獲得に向け、遠軽町の特産品であるアスパラを活用したフェアへの参加を各店舗に呼びかけた。

内 容	目標件数	実績件数
特産品を活用したフェアへの参加企業数	23店舗	28店舗

検証結果：参加店舗が増加した要因は、会議所地域で飲食店が増加したことが要因であった。鹿肉のを活用とアイルランド牛肉を活用したフェアの開催も検討になったが、安定供給、価格面、顧客ニーズの3点から事業実施については産業振興協議会で要検討の必要性があると意見がでた。

取組内容3：アスパラフェア及び愛食フェア実施における地域課題について「えんがる産業振興協議会」を開催し協議を行った。

内 容	目標件数	実績件数
えんがる産業振興協議会の開催	3回	2回

検証結果：町内外の消費者や観光客が地域特産品をどのように食べたいかなどのニーズ、改善点を洗い出せた。次年度はその改善点を実行できるようにしていきたい。

Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

① 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

取組内容1：遠軽地区商工会連絡協議会開催に向け、本年度は当会が発達支援計画に認定されたこともあり、参加承諾となる。また、その総会が行われた。

内 容	目標件数	実績件数
遠軽地区商工会連絡協議会等の開催	1回	0回

検証結果：新型コロナウイルス感染症の影響により会議開催が中止となった。

取組内容 2：他の支援機関や専門機関との情報交換のため、各職種で開催された研修会や専門家派遣時に支援の手法の着眼点などの情報交換や問題解決の手法を学んだ。

内 容	目標件数	実績件数
各専門家の支援手法等の習得及び情報交換	4回以上	4回

検証結果：取組内容のとおり研修会等への参加により新たな支援ノウハウや考え方、様々な支援技術を習得する効果があったため、継続していきたい。

② 経営指導員等の資質向上等に関すること

取組内容 1：商工会連合会などが実施する職種別研修会に参加し、支援能力の向上を図る。

内 容	目標件数	実績件数
職種別研修会への参加による職員の支援能力向上	なし	4件

検証結果：研修会参加により能力向上が図れた。今後はより発展的な支援に取り組むため、段階的にレベルを引き上げていきたい。

取組内容 2：専門家派遣を実施した際に経営指導員が帯同し企業支援方法を学んだ。

内 容	目標件数	実績件数
専門家派遣による経営指導員の企業支援方法の習得	なし	4件

検証結果：専門家として事業者へどのような助言を行っているか、企業支援の際にどのように問題点を聞き出すかなど、より高度な専門知識を学ぶことができたため、継続していきたい。

取組内容 3：補助員・記帳専任職員に対し指導・助言能力を高めるため O J T を実施。

内 容	目標件数	実績件数
職員能力向上のための O J T 実施回数	なし	4 件

検証結果：支援能力向上により今後も会員の相談業務を効率的にサポートしたい。

③ 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

取組内容 1：4 半期に 1 度、事務局内部で支援計画の進捗状況についての報告と内部検証を実施。

内 容	目標件数	実績件数
事務局内部での発達支援計画の進捗状況検証回数	4 回	4 回

検証結果：情報の共有や進捗状況確認、事務局体制による業務の振り分けを行うことにより、スムーズな事業進行ができたため次年度も同様に行う。

取組内容 2：外部有識者を交えた検証

内 容	目標件数	実績件数
外部有識者を交えた発達支援計画の検証回数	1 回	1 回

検証結果：外部有識者を交えることにより、支援計画を多角的に評価でき、次年度事業への改善点を見定めることができたため、来年度も開催する。

取組内容 3：商工会理事会にて進捗内容及び今後の事業展開について報告を行う。

内 容	目標件数	実績件数
商工会理事会での事業展開の報告	3回	3回

検証結果：発達支援計画の進捗状況を確認することで計画の見直しや計画実行性を高めることができたため、次年度も同様に行いたい。

取組内容4：事業結果の公表については、支援計画初年度のため総会で支援計画の概要と推進事業の説明を行った。

内 容	目標件数	実績件数
発達支援事業計画の会員への公表	総会にて報告	総会にて報告

検証結果：総会にて商工会会員に発達支援計画の有効性と活用事業者の掘り起こしを説明したことにより、スムーズな計画実行を行えたため、次年度も公表する。

(4) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見等は下記のとおり。

- ・発達支援計画はどうやって個社の課題を解決していくかが重要だが、支援ニーズはどんどん変化していくので、部会や委員会を活用して支援ニーズの掘り起こしをしてみてもどうか。
- ・商品テスト販売などの情報提供をしているものの、事業者が必要を感じていなければ活用してもらえないのが実態。しかしながら、情報提供を続ける必要があるので実績数値はなくても継続が必要と思う。
- ・総括として、商工会の各委員会や部会を開催して発達支援計画の趣旨を会員に理解していただくと同時に、この計画を会員が十分に活用していくことが必要である。

上記の通り、各有識者から評価及び要望等を挙げていただき協議し、評価委員会を16時00分に閉会した。